御挨拶

佐賀県立盲学校　校長　善　由美子

　佐賀県立盲学校のホームページをご覧いただき、どうもありがとうございます。

　今年度で校長３年目となりました善由美子です。どうぞよろしくお願いいたします。

　本校は、佐賀県内唯一の視覚障害教育の学校として、幼稚部、小学部、中学部、高等部に普通科・保健理療科、専攻科を設置し、視覚に障害のある幼児児童生徒の教育に取り組むとともに、平成27年６月には「目の支援センター　ゆうあい」をスタートさせ、視覚障害教育センターとしての役割を担っております。

　本校の歴史は、大正13年に、佐賀盲唖教授所と佐賀盲学院を私立佐賀盲唖学校として合併・改称したところから始まりました。昭和22年には、盲ろうを分離独立させ、佐賀県立盲学校と改称し、昨年で100年目を迎えました。今年度からは新たな１００年の第一歩の年となります。１００年度の未来に向けてますます飛躍していきたいと思っています。

　今年度は、新入生７名（幼稚部１名、中学部１名、高等部普通科２名、専攻科理療科３名）を迎え、幼小学部４名、中学部４名、高等部４名、専攻科７名の合計１９名の幼児児童生徒が、「－ 明朗・友愛・自立 －」の校訓のもと、同じ学び舎で学んでおります。

　本校に勤務する職員は、盲学校の教育のさらなる充実のために、常日頃から、自らの専門性を高め、自らの指導力を向上させることに真摯に取り組んでいます。そして、職員同士が連携し、協力体制の構築に努めています。教職員はもとより、幼児児童生徒とともにお互いを認め合い、たたえあう中で成長を進めて参ります。

　ここ佐賀県立盲学校には、入学した幼児、児童、生徒たちが直接感じとる生（ナマ）の現実、成長へのプロセスがあります。将来の自立した生活に向けての学びのLive体験が、ここ佐賀県立盲学校にはあふれています。

　これからも、本校の教育目標「視覚に障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援を行い、自立と社会参加及び心豊かな人格の形成を目指す」を実現するため、ひたむきに教育活動に取り組んでいく所存です。

　令和７年４月